

奥さんの言葉は

みいけの歴史がうんだのです

― 柿坂さんへの返信 ―

川口 武彦

柿坂さん

「川口先生聞いてください」というあなたの随想を拝見いたしました。拝見いたしました。五回も六回も読みました。五回も六回も読みました。五回も六回も読みました。

「世の中にはダイヤの指輪を身につけ、自家用車を持ちまわしても、なお幸福を感じない人もあるのに、花と果物をそなえただけの食卓でこんなに豊かな幸せの気持ちになれるなんて。お父さん、心正しいがゆえの貧乏は、幸福になれる可能性を無限大にもっているというところではないでしょうか」

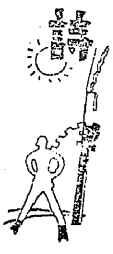
「素朴な三池の主婦たちは、この三池二十年の歴史と、二三年の主婦会運動の歴史の中で、人間としてみがかれてきた。それは、闘争のなかでガツリとスクラムを組む主婦の強さとも、新しい自覚にたつた妻として、母としてのやさしさでもあった……」

なんと美しい奥さんの言葉でしょう。お読みなさったと思いますが『みいけ二十年』の中の「三池の主婦たち」は、私が執筆いたしました。出来の良しあしは別として私は一所懸命で書きました。いかに三池の主婦会の歴史を正確に伝えるかに苦心いたしました。そのなかで、このべています。『資本の合理化攻撃が人間から人間らしさを奪うものであればあるだけに、主婦たちは夫とともにこの合理化攻撃に立ち向わなければならなかった……』



「みいけ」の闘いの歴史をつづく……

ください……」と書いてください。たが、そして「かつて先生に社会科学のいろはを教わった三池の主婦は、とまづけ人間の心さえ見失うようなきびしい差別生活のたかひの中、こんな素晴らしい、そして清潔なる人間の言葉を創造するほかに成長いたしました。たのみのべられていますが、私



母のかなしみ

宮浦 平田光男

水俣病もまた恐ろしい。職業病もおおきく恐怖にさらされている。花形の職業婦人キーパンチャの動がなくなつた指先がむかしの人はいった。ふるりの大牟田川は美しくなつた。俺たちはそれを知らない。その知らない大牟田川には、水俣病の毒に値する有毒物が放流されている。その責任者は誰だ、三池炭鉱では二十世紀では起りえない。炭鉱という人災の下で、

てきたのは、柿坂さんあなたで、聞いてもらいました。長崎のあり、そして三池労働者の歴史であるといふことです。私が三池の歴史から学んだことは、これなのだ。私はいま、長崎から福岡への車中でこれを書いていきます。昨夜、長崎労働者であなたの文を読んだ。

爆発する人民の力

映画「アルジェの戦い」紹介

四月二十九日から大牟田の映画館パレスで「アルジェの戦い」が上映される。これは、かつてフランス領だった北アフリカのアルジェリアの独立運動、その首都アルジェに爆



「アルジェの戦い」の一場面。この映画の出演者の多くが実際に独立運動に参加した人びとであり、その人びとの討論の中から作り出されたものであることが、この映画を一層迫力あるものにしてい

なんでも話して

ほんとうによかった

― CCO家族の手紙 ―

CO家族の会が職場の五人組、主婦会との交流の日程を決め、各グループを作り、全員が行動をはじめ、私も職場の五人組との交流に二回、主婦会との交流に三回行きました。私はいま、長崎から福岡への車中でこれを書いていきます。昨夜、長崎労働者であなたの文を読んだ。

容量をもちなさい」といわれました。そのときの私は、こういわれたらどうしても理解できませんでした。のみ方が変わった。あれからもう十年、私たちが間にもいろいろなことがありました。が、なかでも三池闘争中に私が不当検察されたときなど、口では「がんばってこいヨ」といいたが、とても心配してくれたことなどもありました。

真山さんの言葉



苦しみ分けあう夫婦

変ってきた酒のみ方

大石知恵子さん

私を苦しめた酒のみ方も、いまでは、職場の同志たちと団結を固めるためのむと、健康的、なのみ方です。二人でいろいろな活動上のご話をあつと、ほんとうにあなたも変わった、と、ひそかに敬意を表します。あの封建的なあなたが、こんなに変わった、子どもたちに対しては、一人でお酒のんでまわらわっていることが多く、私もどうしていいかわからなくなることがよくありました。ちやうど社宅にいられた新制作座の真山美保さんに相談したら、「あなたの気持はわかるけど、男性をもっと理解することが大切で、男は七人の敵があるといわれるほど、会社でもおもしろくないことがあると飲んでまわらわすほかはない。あなたも、ご主人がよぼぼ帰って帰ってきたら、肩をたたいて、あなたの気持はわかるヨ」といって来るくさくさの包